

# 岡崎宿～藤川宿コース

岡崎宿は、『二十七曲り』と言われるように、岡崎城を東・北・西の三方から囲むように幾重にも折れ曲がって通っていた東海道38番目の宿場町です。

二十七曲りの最初は、創業江戸時代初期といわれる八丁味噌の見学からスタート、27の曲り角は、田中吉政が天正18年（1590）から10年掛けて造ったといわれています。戦災復興等により不明な箇所もありますが、昨年末にオープンした道の駅『藤川宿』までの東海道（約12km）をさんさくしました。

参加者から「複雑な二十七曲りを説明を聞きながら歩いて良かった」「温故知新で楽しかった」などの感想もいただきました。

1. 実施日 平成25年 1月19日（土）
2. 参加人員 27名
3. 距離 約 12 km
4. コース 岡崎宿 ～ 藤川宿
5. 行程 中岡崎駅→八丁味噌の郷（見学）→岡崎宿「二十七曲り」→大平一里塚→西大平藩陣屋跡（大岡越前守忠相）→藤川松並木→西棒鼻跡→藤川宿本陣跡→紫麦→道の駅「藤川宿」（解散）
6. 担当 （社）中部建設協会 業務部



八丁味噌蔵



二十七曲り  
（唐弓弦の看板前）



大平藩陣屋跡  
（大岡越前守忠相）